

## 光星 主戦福山復調が好材料

2年連続19回目の出場となる八学光星



# 県勢3校 頂点目指す

## 春季東北高校野球 あす青森で開幕

第65回春季東北高校野球大会は7日、青森市の青森市営、県総合運動公園の2球場を会場に開幕

する。八学光星、弘前東弘前工の県勢3校を含めた計18校が、東北6県の頂点を目指し熱戦を繰り

広げる。県大会の成績を基に本県代表の戦いを展望する。本県第1代表の八学光

星は主戦・福山の復調が心強い。県大会準々決勝でライバル青森山田を1失点に抑え、決勝では最

速145km/hの直球と切れのある変化球で15奪三振と、優勝の原動力となった。打線は長打力こそ乏しいが、集中打による大量得点で勝機をつかむ勝負強さがある。今季7試合で失策1の自慢の守りで、昨春の東北大会決勝で敗れた雪辱を期す。

弘前東は、春は6年ぶり2回目だが、昨秋に続く東北大会2季連続の出場と着実に力を付けてきた。東北大会1勝を目指す。弘前工、青森との古豪対決を制し本県第3代表を

た。タイプの異なる4人の投手陣は、相手打線の的を絞らせず試合をつくる。持ち味は攻撃力。チーム打率3割6分3厘、27得点と強力打線を引く張るのは、4番桜庭。県大会準決勝での2本塁打を含め打率5割、8打点と力を発揮した。まずは東北大会1勝を目指す。17年ぶりの出場となる弘前工、青森との古豪対決を制し本県第3代表を獲得した。下馬評は決して高くなかったが、県大会2回戦の三沢戦や同準々決勝の大湊戦で見せた接戦をしごとく物にする粘り強さが特徴。勝負どころでの本塁打など派手な攻撃が目立ったが、県大会5試合で犠打17と堅実な野球が信条。東北各県の難敵相手に、古豪の底力を見せたい。

7日は、開幕戦で弘前工が利府(宮城県第3代表)、弘前東が古川学園(宮城県第2代表)と対戦。八学光星は8日、盛岡中央(岩手県第3代表)と顔を合わせる。  
(秋元宏宣)

東北大会出場3校の県大会の成績 (下段は地区予選)

校名	試合数	得点	失点	打数	安打	打率	本塁打	犠打	盗塁	失策
八学光星	4	29	4	126	44	.349	2	11	0	1
弘前東	3	61	2	77	43	.558	2	8	28	0
弘前工	4	27	9	124	45	.363	3	3	1	3
	2	19	4	68	23	.338	0	4	2	2
	5	29	19	142	43	.303	5	17	4	7
	3	16	12	94	27	.287	3	7	2	5